



八幡宮境内での迫力ある境田虎舞の演舞



軽やかな拍子で美しい舞を披露する八幡宮大神楽



威勢のいい掛け声で力強い舞を見せる関口剣舞

山田八幡宮・大杉神社復興祈願祭 祭ばやしに町民の心が躍る

山田八幡宮・大杉神社の復興祈願祭が9月17日と18日、山田八幡宮境内を中心に開催されました。ことしは震災の影響で、国道でのパレードやみこしが海中を練り歩く「お塩垢離しおごり」などはありませんでしたが、勇壮な舞を披露する踊り手らは例年と変わらぬ熱気で溢れ、1年ぶりとなる祭ばやしを楽しみにしていた町民は笑顔で境内へと足を運びました。18日午後には長崎地区でパレードが行われ、町内外の郷土芸能の華麗な舞に、沿道に詰めかけた観衆から盛んな拍手が送られていました。山田の秋の風物詩ともいえる笛や太鼓の祭ばやしは、復興へ向かい一歩踏み出した町民の心に響いていました。

スター混声合唱団コンサート 美しい歌声で観客を魅了

タレントの山田邦子くはこさんを団長とするスター混声合唱団が9月14日、中央公民館で復興祈念コンサートを行いました。本町出身のオペラ歌手澤田薫かほるさんも加入する同合唱団は、「赤とんぼ」や「ふるさと」などなじみのある曲を披露。共演の山田高校吹奏楽部も「ジュピター」などのヒット曲を演奏しました。歌の合間には、本町への支援活動を続けている山田さんが「同じ名前で愛着のある山田町を“ふるさと”と呼ばせてください」などと観客に語り掛けたほか、タレントの松村邦洋くはひろさんらが軽妙なトークで会場を盛り上げました。心のコもった歌や演奏に、会場に訪れた観客は魅了されていました。





今月の題字

上野美海ちゃん
(山田北小2年)

町のわだい

八幡町の斎藤トクさんが100歳 家族とともに長寿を祝う

八幡町の斎藤トクさん(明治44年生まれ)が、9月18日で満100歳の誕生日を迎えました。20日、沼崎喜一町長がグループホーム「まぶる」を訪問し長寿を祝福。「元気で長生きしてくださいね」と長寿祝い金を手渡しました。若いころは友人宅を訪ね歩いては話に花を咲かせるのが日課で、今でも面会に訪れる家族や施設の職員との会話が一番の楽しみという斎藤さん。ご家族や入所している皆さんに囲まれ、共に笑顔で長寿を祝いました。



中央公民館でたんぽぽ学級開催 親子一緒に心のケアを学ぶ

9月6日に山田中央公民館小ホールで「たんぽぽ学級」が開かれました。これは、妊婦や0歳から3歳の子供を持つ親や祖父母を対象とした学習会で、本年度2回目となる今回は「母と子の心のケア」と題し、児童精神科医の近藤直司先生を招いて震災を経験した子供の心や体のケアについて学びました。震災後の子供の变化に気付き、家族と一緒にいる時間を増やし不安を軽減させることやスキンシップをとることが大切との説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



イラン大使夫妻が来町 希望を象徴した絵画を寄贈

9月7日、駐日イラン大使館の大使ご夫妻が町を訪問し、絵画を寄贈しました。「不死鳥」という題名の絵画は画家である夫人が描いたもので、がれきから草木が芽吹き、暗闇の中でも光は存在していることを表現。また、俳句愛好者のゴドラトラー・ザーケリーさんがイランの俳句を日本語訳にした俳句集も配られました。4月20日にも来町し、イラン料理を振る舞ったご夫妻。「イランでも報道され、山田町を親しみ深い町としてイランの人々は思っている。イラン地震で助けられた恩を今返すときです」と話していました。